

事業活動報告 事業所名 第三かめおか作業所

1.2016年度 事業所方針
<p>*「夢や願いをつめこんだ『らしく (ビジョン)』への第2歩を」</p> <p>今年度も、障害のある人が地域で自分らしく生きるために大切な要素、働きがいのある仕事、生活の糧となりうる工賃の保障、挑み・手応えを得る場面づくりをめざし取り組んできました。</p>
2.利用者・職員状況について
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者41名（男性24、女性17）定員+1 ・職員14名 正規6名 非正規8名（所長1名 主任2名 支援員9名 厨房2名） ・作業 和洋菓子グループ… シフォンケーキ、もち焼きあられ等の製造・販売 地域就労グループ… スーパーやマンション、公共施設の清掃、草刈り、ワックスがけ
3.実践内容について
<p>今年度も「はたらく・つながる・はっぴいプラン（個別支援計画）」を作成し、一人ひとりと面談し目標を決め実践してきました。また土曜開所日を活用し「多様な働き方」「生活に関する制度の活用」等身近なテーマを取り上げ、時にグループワークを持ちながら、利用者自身が話しあう機会を設けてきました。</p> <p>内勤では5月に新しく焼き窯オープン・ブラストチラー（急速冷凍機）・食洗機を導入しました。温度設定が安定しケーキはこれまで以上にきめ細かく、ふんわりと仕上がるようになり余裕を持って量産することができました。人気のポンチップスは新しく「えんどう豆」が加わり、色々な種類を楽しめる「よりどりセット」を発売、和菓子の売上をあげる努力をおこないました。またふるさと納税の返礼品として「亀岡らしさ（菓子詰め合わせ）」を提案しました。外勤では、今年度も介護保険事業所での清掃を受託することができ、新たにマンション清掃を契約するなど、仕事を増やすことができました。それにともなって、誰もが手順や仕上がり分かるマニュアルづくりに取り組んでいます。</p> <p>月に一度みんなで集まる「外勤終わりの会（給料支払い）」では、利用者が司会・進行を担い、さらに主体的な参加ができるよう工夫しました。また社会マナーや仕事のスキルアップを学ぶ機会をもうけています。今年度も3名がアビリンピック京都大会ビルクリーニング部門へ出場しました。残念にも入賞とはなりませんでした。大きな刺激となり「来年度は春から練習をしよう」と積極的な声が聞こえています。</p> <p>今年度も多くの利用者が一般就労をめざしてきました。Sさんは1月から京都府庁ゆめこうば室へ入職、Nさんは2月より京都市内A型事業所へ入職、Mさんは東愛産業での入職が決定しました。京都府主催の合同就職面接会へ参加、ハローワークへの登録と求人情報の照会、面接会に向けたスペシャルセミナーへの参加など、年間を通して一般就労を視野に入れた支援を行っています。また、就職した人を対象に2ヶ月に1度、「ほっこり会」を開催し、地域で働いている人たちの状況を把握し必要に応じて企業や関係機関と連携し、長く職場で働けるよう対応してきました。</p>
4.成果と次年度への課題について
<ul style="list-style-type: none"> ・私たちが目指す支援をさらに明確に <p>一人ひとりの豊かな生き方を創るために「働きがいのある仕事」「高工賃」を目標としていますが、もう一つ大切なことがあります。日々自身が考え「これならできる」「こんなことが出来た」ことを大切に、まわりと比べてでなく自分で決めたことを認められること。そのことが安心と自信につながり、次のステップを見出せる… これはこれまでの実践のなかで明確になった第三かめおか作業所の「特色」です。地域のなかで働きたいと思いながら、まだどこにもつながりの持っていない人にとって、心の支えになれる事業所になれるよう、取り組んでいきたいと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特色ある就労移行支援事業所・就労継続B型事業所へ <p>都市部では企業も参入し移行支援事業所が増え、利用者の争奪がおこっています。今一度、私たちの役割を明確にし、第三ビジョン「らしくはたらくサポートセンター構想」を具体化していきたいと考えています。</p>